

今までに公表した活断層及び海溝型地震の長期評価結果一覧

地震調査委員会では、主要な活断層や海溝型地震の活動間隔、次の地震の発生可能性〔場所、規模(マグニチュード)及び発生確率〕等々を評価し、随時公表している。平成14年1月現在、主要98断層帯のうち15地域17断層帯、周辺海域(9つ程度に区分)のうち宮城県沖及び南海トラフの2地域について評価をまとめ公表している。

1. 活断層の長期評価の概要

(陸域の活断層から発生する地震の今後30, 50, 100年以内の地震発生確率等)

断層帯名	長期評価で予想した地震規模(マグニチュード)	地震発生確率※			我が国の主な活断層における相対的評価	平均活動間隔(上段)と最新活動時期(下段)
		30年以内	50年以内	100年以内		
糸魚川-静岡構造線断層帯(北部、中部、南部) (牛伏寺断層を含む区間)	8程度 (7 1/2~8 1/2)	14%	23%	41%	我が国の主な活断層の中では高いグループに属する	約1000年 ----- 約1200年前
富士川河口断層帯	8.0程度 (8.0±0.5)	0.20%~ 11%	0.37%~ 18%	0.94%~ 33%		1500年~1900年 ----- 2100年前~1000年前
神縄・国府津-松田断層帯	8程度(8±0.5)	3.6%	6.0%	12%		3000年程度 ----- 約3000年前
京都盆地-奈良盆地断層帯南部 (奈良盆地東縁断層帯)	7.5程度	ほぼ0%* ~5%	ほぼ0%* ~7%	ほぼ0%* ~10%		約5000年 ----- 11000年前~1200年前
森本・富樫断層帯	7.2程度	ほぼ0%* ~5%	ほぼ0%* ~9%	ほぼ0%* ~20%		約2000年 ----- 2000年前以降 200年前以前
養老-桑名-四日市断層帯	8程度	ほぼ0%* ~0.6%	ほぼ0%* ~1%	ほぼ0%* ~3%		1400~1900年 ----- 西暦13世紀以降 16世紀以前
函館平野西縁断層帯	7.0~7.5程度	ほぼ0%* ~1%	ほぼ0%* ~2%	ほぼ0%* ~3%	我が国の主な活断層の中ではやや高いグループに属する	13000年~17000年 ----- 14000年前以降
鈴鹿東縁断層帯 [§]	7.5程度	0.5%以下	0.8%以下	2%以下		6000年以上 ----- 十分特定できない
生駒断層帯	7.0~7.5程度	ほぼ0%* ~0.1%	ほぼ0%* ~0.2%	ほぼ0%* ~0.6%		3000年~6000年 ----- 1600年前~1000年前
有馬-高槻断層帯	7.5程度(±0.5)	ほぼ0%* ~0.02%	ほぼ0%* ~0.04%	ほぼ0%* ~0.2%	—	1000年~2000年 ----- 1596年慶長伏見地震
北上低地西縁断層帯	7.8程度	ほぼ0%*	ほぼ0%*	ほぼ0%*	—	16000年~26000年 ----- 4500年前頃

信濃川断層帯 (長野盆地西縁断層帯)	7.5~7.8 程度	ほぼ 0%*	ほぼ 0%*	ほぼ 0%*	—	800~2500 年 ----- 1847 年善光寺地 震
元荒川断層帯	上尾市付近を境に北部と南部に分けられ、北部のみが活断層と判断される。					
東京湾北縁断層	活断層ではないと判断される。					
岐阜一宮断層帯	活断層ではないと判断される。					

2. 海溝型地震の長期評価の概要

(海溝型地震の今後 10, 20, 30 年以内の地震発生確率)

地震名	長期評価で予想した地震規模 (マグニチュード)	地震発生確率*			平均発生間隔 (上段) と 最新発生時期 (下段; 2001.1.1 基準)	
		10 年以内	20 年以内	30 年以内		
宮城県沖地震	7.5 前後 (但し, 日本海溝寄りの海域の地震と連動して発生した場合には 8.0 前後。)	26%	81%	98%	37.1 年 ----- 22.6 年前	
南海トラフの地震 (南海地震・東南海地震) (平成 13 年 9 月公表)	南海地震 8.4 前後	同時 8.5 前後	10%未満	20%程度	40%程度	114.0 年(次回までの標準的な値**90.1 年) ----- 54.0 年前
	東南海地震 8.1 前後		10%程度	30%程度	50%程度	111.6 年(次回までの標準的な値**86.4 年) ----- 56.1 年前

*注 1: 「ほぼ 0%」は 10%未満の確率値。

§注 2: 「鈴鹿東縁断層帯」については計算方法が異なるため注意が必要。

*注 3: 確率については、評価時点に依存しない「鈴鹿東縁断層帯」を除き 2001 年当初時点での値を示した。「糸魚川-静岡構造線断層帯」、「神縄・国府津-松田断層帯」及び「富士川河口断層帯」については、長期評価を発表した際には確率を示していなかった。

**注 4: 時間予測モデルに基づいて推定。

*注 5: 確率については、2001 年当初時点での値を示した。南海トラフの地震については、時間予測モデルを適用。

(参考) 1995 年兵庫県南部地震発生直前における確率

断層帯名	発生した地震規模 (マグニチュード)	地震発生確率	平均活動間隔
		30 年以内	
野島断層	7.3	0.4%~8%(暫定値)	1800 年~3000 年(暫定値)